

マネックス資産設計ファンド エボリューション

追加型投信/内外/資産複合

月次運用レポート 2012年2月

商品の特色(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

世界の株式、債券、リートを実質的な投資対象とし、分散された基本ポートフォリオを構築します。

投資対象とするマザーファンドは、先進国株式(国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド)、新興国株式(エマージング株式パッシブ・マザーファンド)、先進国債券(国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド)、新興国債券(エマージング債券パッシブ・マザーファンド)、先進国リート(J-REITインデックスファンド・マザーファンド、グローバルリート・パッシブ・ファンド・マザーファンド)です。

基本ポートフォリオの資産配分比率の決定にあたっては、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンの投資助言を受けます。

投資対象に新興国資産を加えることで、相対的に高いリターンを狙います。

基本ポートフォリオの推定リスク水準は原則として日本株投資と同程度としつつも、世界の複数資産へ高度な分散投資を行うことにより、効率の良い運用をめざします。

経験豊富な運用者によるアクティブアセットアロケーション運用により、超過収益の獲得をめざします。

信託報酬は1.05%(税込)とし、購入時手数料はノーロードと低コストでご提供します。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

当資料は11枚ものです。P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
 月次運用レポート (2012年2月)

主なリスクと費用(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

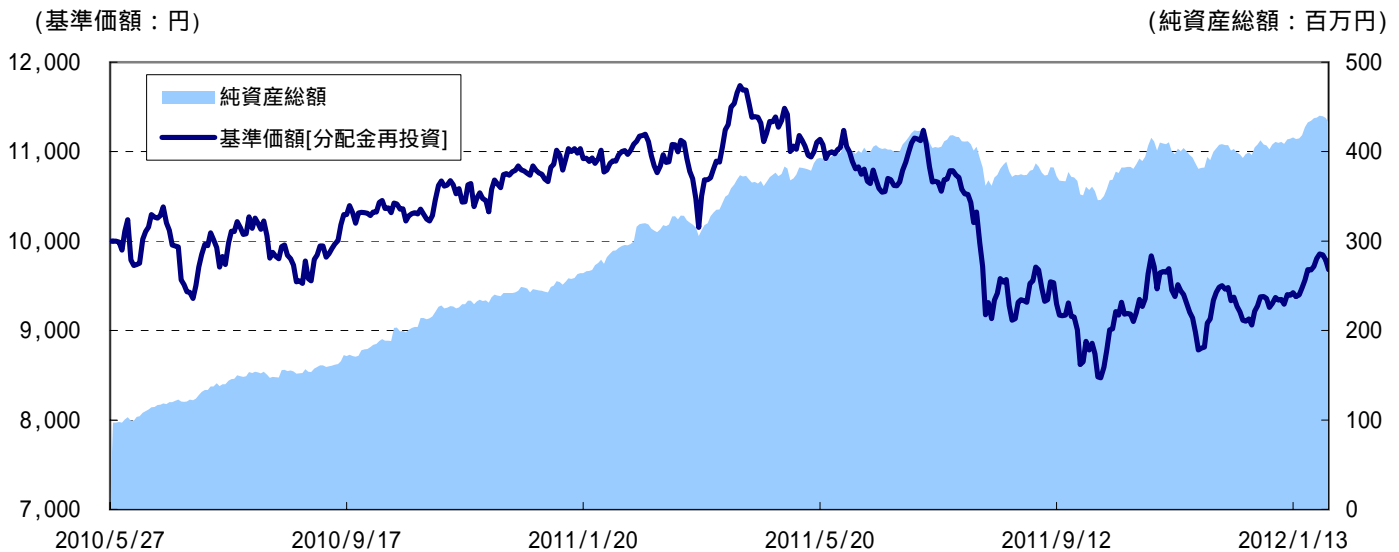
投資信託は預貯金と異なります。投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の主な変動要因は以下のとおりです。なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- | | | |
|--------------------|-------|--|
| 資産配分リスク | | 当ファンドの実質資産配分において、収益率の悪い資産への配分比率が大きい場合、基準価額が下がる場合があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 株価変動リスク | | 当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 金利リスク | | 一般的に金利が上昇すると債券、リートの価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券、リートに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| リートの価格変動リスク | | 実質的に投資対象とする不動産の価値および当該不動産による賃貸収入等の変動により、当ファンドの基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 為替リスク | | 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 信用リスク | | 実質的に投資する株式、債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、実質的に投資対象とするリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| 流動性リスク | | 当ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式、債券等に投資する場合があります。そのような市場に投資した場合、また、実質的に投資したリートによっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。 |
| カントリーリスク | | 実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。また、実質的に投資を行う新興国の通貨や株式、債券の発行者が属する国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化などが為替市場や株式、債券市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制などの種々な規制の導入や政策の変更等の要因も為替市場や株式、債券市場に著しい影響を及ぼす可能性があります。 |
| 有価証券(指数)先物取引に伴うリスク | | 当ファンドは、有価証券(指数)先物取引を使用するため、有価証券(指数)先物取引の価格変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。先物の価格は、対象証券または指数の値動き、先物市場の需給等を反映して変動します。先物を買建てている場合において、先物価格が上昇すれば収益が発生し、下落すれば損失が発生します(売建てている場合は逆の結果となります。)。また、有価証券(指数)先物取引の値動きと市場全体の値動きは一致しない場合があります。 |

当ファンドへの投資に伴う主な費用は、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
 月次運用レポート (2012年2月)

運用実績の推移

基準価額[分配金再投資]は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。
 $\text{基準価額[分配金再投資]} = \text{前日基準価額[分配金再投資]} \times (\text{当日基準価額} \div \text{前日基準価額})$
 (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
 基準価額は信託報酬控除後です。尚、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。
 (設定日：2010年5月28日)
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

騰落率 (税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	4.08%	-1.57%	-8.08%	-10.15%	-3.21%

1 当ファンドの騰落率は税引前の分配金を再投資したものと計算しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。(以下同じ)
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	9,679 円
解約価額	9,650 円
純資産総額	432 百万円
設定日	2010年5月28日
決算日	原則として毎年1月11日

分配金情報 (税引前)

直近3年分

第1期	(2011.01.11)	0 円
第2期	(2012.01.11)	0 円
累計分配金		0 円

1 分配金は1万口当たり
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

マザーファンドの組入状況

マザーファンド	98.2%
現金等	1.8%
合計	100.0%

比率は純資産総額に対する割合です。

当資料は11枚ものです。
 P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
 月次運用レポート (2012年2月)

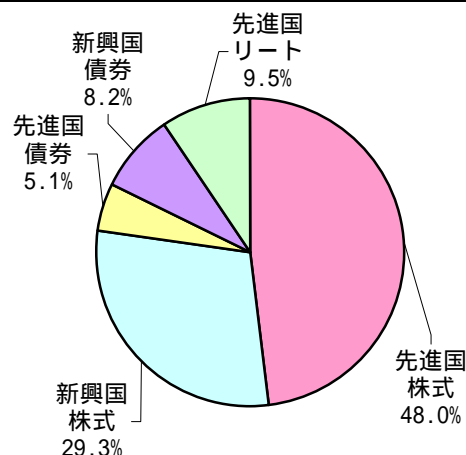
目標ポートフォリオ決定プロセス

資産	国および地域	基本ポートフォリオ	月末時価評価基本ポートフォリオ	資産配分比率の変更	国別配分比率の変更	目標ポートフォリオ
先進国株式	日本	4.9%	4.9%	-2.0%	0.0%	4.7%
	米国	24.1%	25.4%		0.0%	24.4%
	欧州	13.8%	12.6%		0.0%	12.1%
	その他	6.2%	5.8%		0.0%	5.6%
	計	49.0%	48.7%		-2.0%	0.0%
新興国株式		31.0%	28.9%	0.0%	-	28.9%
先進国債券	日本	1.6%	1.9%	+1.0%	0.0%	2.2%
	米国	1.4%	1.6%		0.0%	1.9%
	欧州	1.8%	1.9%		0.0%	2.3%
	その他	0.2%	0.2%		0.0%	0.3%
	計	5.0%	5.6%		+1.0%	0.0%
新興国債券		7.0%	8.1%	0.0%	-	8.1%
先進国リート		8.0%	8.6%	+1.0%	-	9.6%
合計		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

- 1 基本ポートフォリオ及び月末時価評価基本ポートフォリオはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン社のデータを基に作成しています。
- 2 目標ポートフォリオについては決定プロセスに基づいて計算した数値であり、実際のファンドの状況とは異なります。
- 3 原則として、資産配分比率の変更はマザーファンド受益証券の売買で調整し、国別配分比率の変更は先物の買い持ち、売り持ちポジションを構築することで調整します。

ポートフォリオの構成 (5資産分類)

資産	比率	マザーファンド名	比率
先進国株式	48.0%	国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド	4.8%
		外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	43.2%
新興国株式	29.3%	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	29.3%
先進国債券	5.1%	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	2.2%
		外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	2.9%
新興国債券	8.2%	エマージング債券パッシブ・マザーファンド	8.2%
先進国リート	9.5%	J-REITインデックスファンド・マザーファンド	0.6%
		グローバルリート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	8.8%



比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。

先物取引の内容

基準日現在、ベビーファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」において先物取引残高はありません。

- 1 先物取引の内容はベビーファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」についてのみ表示しています。
- 2 先物取引はベビーファンド「マネックス資産設計ファンド エボリューション」の純資産総額比で表示しています。

当資料は11枚ものです。
 P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
 月次運用レポート (2012年2月)

当月のマーケット動向

先進国株式市場では、各国株式市場は上昇しました。米国の格付機関による欧州諸国の格下げ等で財政懸念が高まる場面があったものの、概ね良好な米国経済指標、中国の金融緩和の期待の高まり、欧州各国の国債入札の順調な消化、FRB(米連邦準備理事会)による超低金利政策の一段の長期化等を背景に、株式市場は月初から上昇基調で推移しました。その後、月末にかけては、ギリシャの債務減免交渉が難航したことや米国経済指標が下振れたことで上値の重い展開となりました。米国ではハイテク企業が多いナスダック総合指数、欧州ではドイツの株式市場が相対的に大きく上昇しました。国内株式市場も月の後半から買われ、外国株式市場に対する出遅れを修正する展開となりました。

新興国株式市場は、欧州金融市場が落ち着きを見せる中、米国の良好な景気指標や中国の金融緩和の動きが投資家心理の改善を促したことなどを受けて、大きく上昇しました。特に香港株式市場やインド株式市場の上昇が目立ちました。

先進国債券市場では、米国やドイツの国債利回りは小幅に低下しました(価格は上昇)。上旬は、欧州債務問題をめぐり一進一退の動きとなり、中旬に入ると欧州諸国の国債入札が順調に消化されたこと等を受けて利回りは上昇(価格は下落)しましたが、月末にかけては、ギリシャの債務減免交渉の難航や米国の超低金利政策の長期化を背景に利回りは低下(価格は上昇)する展開となりました。イタリアやスペインなどの重債務国は、国債入札を順調に消化したことで懸念が緩和し、短い年限を中心に利回りは低下(価格は上昇)しました。国内債券市場は、利回りが小幅に低下しました(価格は上昇)。

新興国債券市場の利回りは、前月末と比較して小幅に低下(価格は上昇)しました。また、対米国債スプレッドは、欧州債務問題の打開策に進展が見られて小幅に縮小しました。

先進国リート市場では、外国リート市場は、欧州の財政懸念が高まる場面があったものの、良好な米国の経済指標や中国の金融緩和への期待、欧州諸国の国債入札等を背景に上昇する展開となりました。国内リート市場は、月の前半は欧州債務問題や公募増資による需給環境の悪化を背景に軟調に推移したものの、月の後半は株式市場の上昇に連れて堅調に推移しました。

為替市場では、ドル/円相場は、円高ドル安となりました。1ドル=77円を挟んだ動きが月初より続きましたが、下旬に入ると2011年の貿易収支が31年ぶりの赤字となったことを受けて一時78円台半ばまで円は下落しました。しかし、その後は、FRBによる超低金利政策の長期化を背景に76円台前半まで円高ドル安が進みました。ユーロ/円は、欧州諸国の格下げ等で一時1ユーロ=97円台前半まで円高ユーロ安が進んだものの、その後は欧州諸国の国債入札が順調に消化されたこと等を背景に一時100円台を回復する展開となりました。

実績リターン(前月末比騰落率)

当ファンド	基本ポートフォリオ	差
4.08%	4.29%	-0.21%

基本ポートフォリオの騰落率は時価評価後ポートフォリオの騰落率であり、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン社のデータを基に作成しています。

当月のファンドの動き

1月は12月に続き、欧州債務問題が燦る中、景気の悪化リスクと金融機関の信用リスクなどを勘案して、先進国リートのアンダーウェイトと先進国株式のアンダーウェイト、先進国債券のオーバーウェイトのポジションで臨みました。その後、リスク性資産が堅調な推移となる可能性が高まったことから、投資妙味の高い先進国リートを段階的にオーバーウェイトに引き上げ、先進国債券と先進国株式のウェイトを引き下げました。

当ファンドの1月末の基準価額は前月末比で4.08%の上昇となりました。資産配分効果では、特に月初から先進国債券をオーバーウェイトとしていたことやキャッシュを保有していたことがマイナスに寄与しました。

今後のマーケットの見通し

先進国株式は、欧州債務問題の対応には進展が見られていますが、今後もその動向による株式市場への影響は大きいと考えています。足元の企業決算の内容はやや厳しい内容となり、金融緩和の効果と景況感の悪化との綱引きの中で、株式市場は上値を重くする可能性が高いと思われます。

新興国株式は、世界的な経済情勢の悪化懸念が市場に影を落としています。一方でインフレ動向が落ち着く可能性が出ており、金融緩和の期待も台頭してきています。先進国に比べるとその成長性には期待が持てることから、中期的に市場はその成長性に沿った動きをたどるものと考えています。

先進国債券は、財政引き締めと金融緩和の継続という環境下では当面は現行の金利水準を挟んだ展開を予想します。ただし、欧米の長期金利は低水準にあり、景況感の底打ちの兆しが出ると反転して上昇する可能性は認識しておきたいと思えます。

新興国債券は、先進国に比べ新興国の景況感は相対的に強いものになると想定していますが、米国金利と同様にレンジでの推移になると予想します。

先進国リートは、基本的に先進国の金融株と同様の動きを想定していますので、欧米での財政・金融問題の動向に敏感で神経質な展開になることを想定していますが、リートの利回り面が下値を支えると考えています。

上記の見通しと運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は11枚ものです。

P.11の「本資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

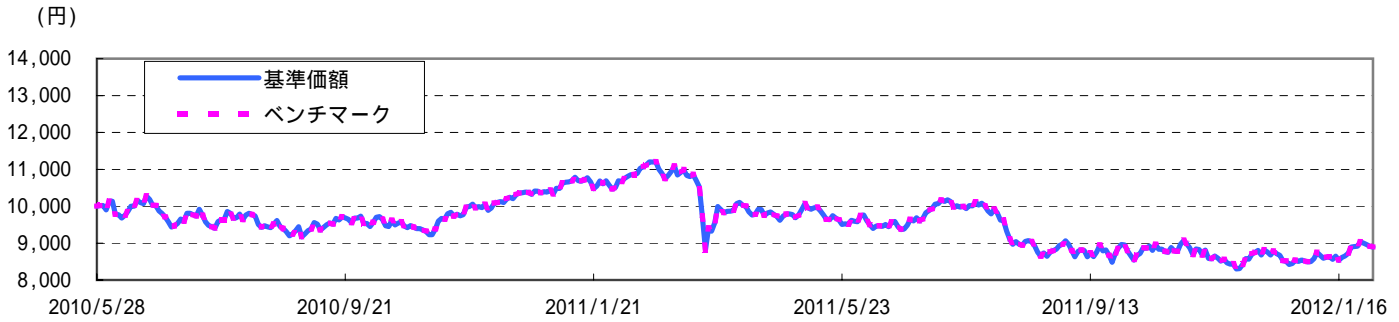
設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
月次運用レポート (2012年2月)

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) です。
基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日 (2010年5月28日) を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	3.67%	-0.96%	-9.19%	-15.02%	-11.07%
ベンチマーク	3.66%	-1.04%	-9.20%	-15.03%	-11.05%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

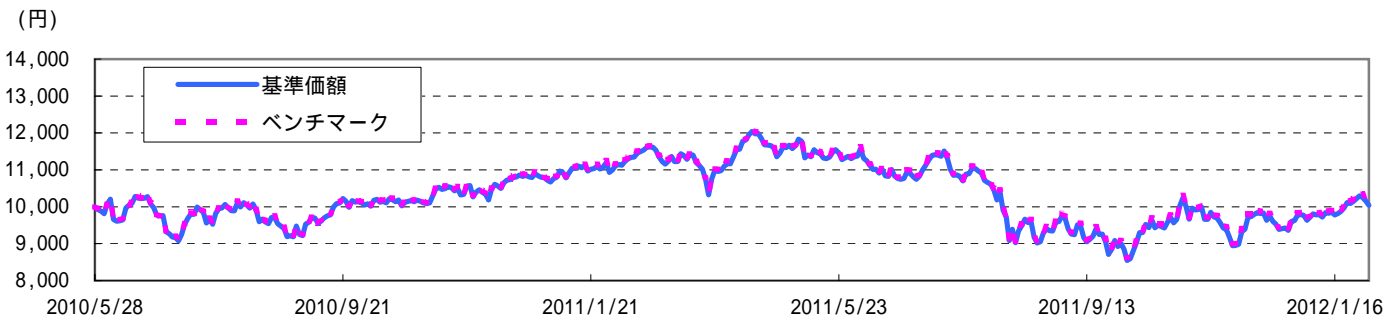
基準価額・純資産総額

基準価額 10,079 円
純資産総額 250,747 百万円

東証株価指数 (TOPIX) は、東証の知的財産であり、これらの指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関する権利は東証が有しています。東証株価指数 (TOPIX) の算出においては、電子計算機の障害または天災地変その他やむを得ない事由が発生した場合は、その算出を延期または中止する場合があります。また、東証は、同指数がいかなる場合においても真正であることを保証するものではなく、同指数の算出において、指数に誤謬が発生しても、東証は一切その賠償の責めを負いません。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、MSCI コクサイ・インデックス (円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし) です。
基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日 (2010年5月28日) を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	3.36%	-1.94%	-5.76%	-8.13%	0.43%
ベンチマーク	3.36%	-2.16%	-5.78%	-8.10%	0.98%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

基準価額・純資産総額

基準価額 12,050 円
純資産総額 263,838 百万円

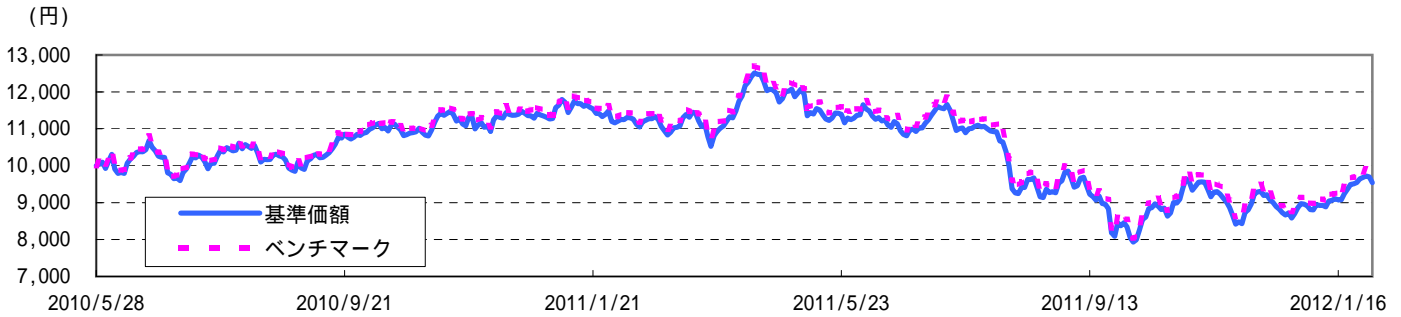
MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に属しており、また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

当資料は11枚ものです。
P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
月次運用レポート (2012年2月)

エマージング株式パッシブ・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）です。基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日（2010年5月28日）を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	8.37%	-1.13%	-12.78%	-14.80%	-4.58%
ベンチマーク	8.23%	-1.87%	-12.92%	-14.59%	-2.81%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

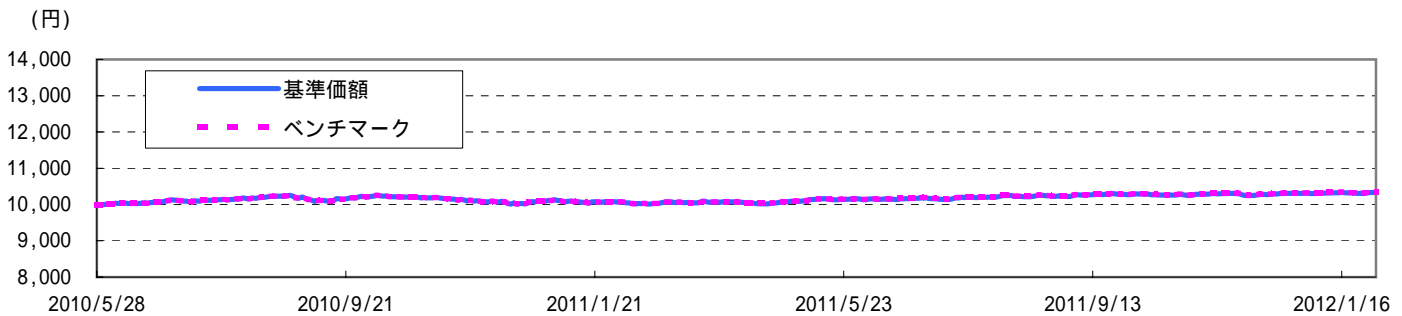
基準価額・純資産総額

基準価額 6,588 円
純資産総額 34,509 百万円

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、NOMURA - BPI総合です。基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日（2010年5月28日）を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	0.18%	0.78%	1.25%	2.49%	3.31%
ベンチマーク	0.19%	0.79%	1.27%	2.61%	3.45%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

基準価額・純資産総額

基準価額 11,417 円
純資産総額 411,405 百万円

NOMURA-BPI総合は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

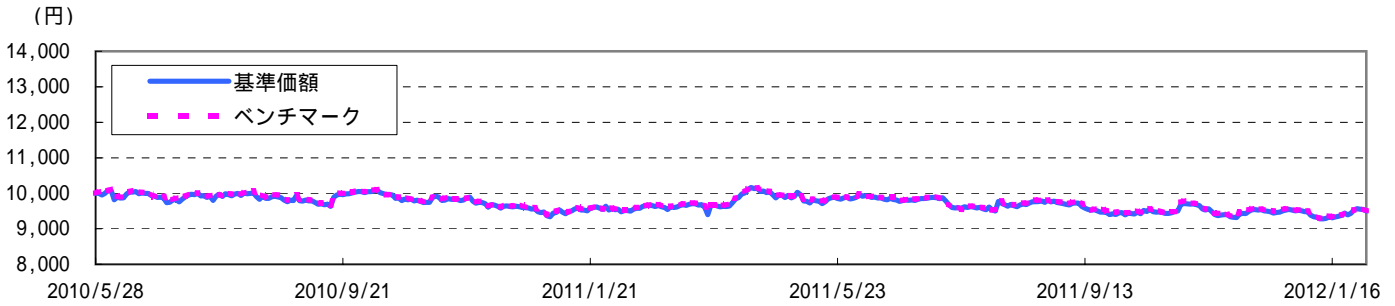
当資料は11枚ものです。
P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 

マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
月次運用レポート (2012年2月)

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし）です。
基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日（2010年5月28日）を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	0.17%	-1.90%	-0.40%	-0.29%	-4.99%
ベンチマーク	0.07%	-2.45%	-0.58%	-0.66%	-4.95%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

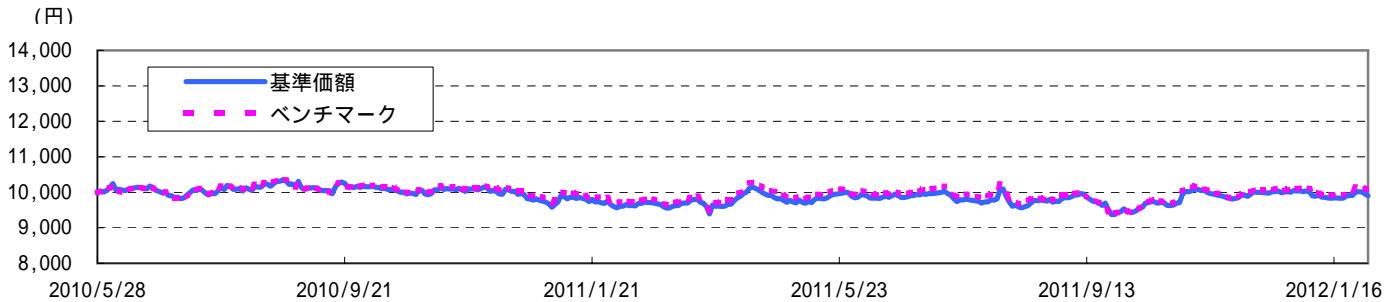
基準価額・純資産総額

基準価額 11,330 円
純資産総額 365,130 百万円

シティグループ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

エマージング債券パッシブ・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース・為替ヘッジなし）です。
基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日（2010年5月28日）を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	-1.18%	-0.52%	1.79%	2.57%	-0.98%
ベンチマーク	-0.49%	0.14%	1.62%	3.73%	0.55%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

基準価額・純資産総額

基準価額 9,975 円
純資産総額 31,455 百万円

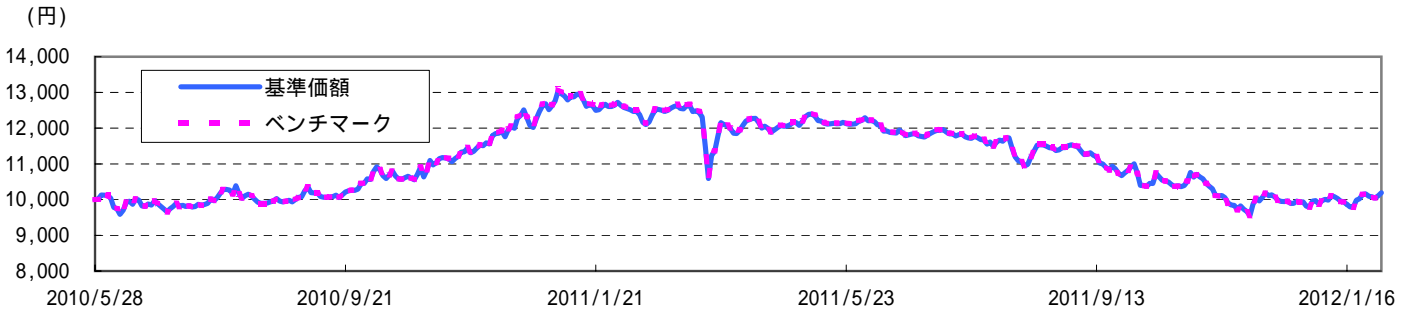
JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・チェース・アンド・カンパニーに帰属します。

当資料は11枚ものです。
P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
月次運用レポート (2012年2月)

J-REITインデックスファンド・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、東証REIT指数（配当込み）です。
基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日（2010年5月28日）を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	2.28%	-4.14%	-12.15%	-19.39%	1.92%
ベンチマーク	2.32%	-4.30%	-12.28%	-19.62%	1.89%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

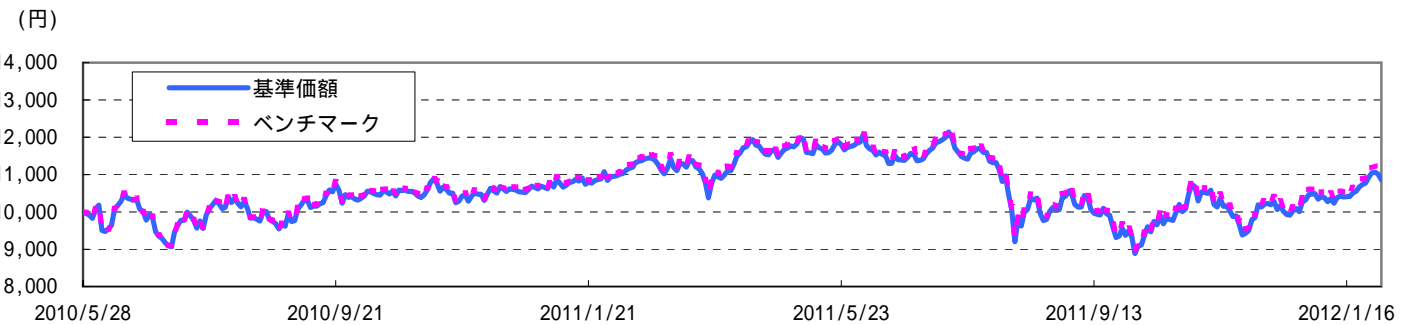
基準価額・純資産総額

基準価額 7,013 円
純資産総額 3,380 百万円

東証REIT指数は、東証の知的財産であり、これらの指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関する権利は東証が有しています。東証REIT指数の算出においては、電子計算機の障害または天災地変その他やむを得ない事由が発生した場合は、その算出を延期または中止する場合があります。また、東証は、同指数がいかなる場合においても真正であることを保証するものではなく、同指数の算出において、指数に誤謬が発生しても、東証は一切その賠償の責めを負いません。

グローバルリート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

運用実績の推移



当マザーファンドのベンチマークは、S&P 先進国 REITインデックス(除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)です。
基準価額及びベンチマークはマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日（2010年5月28日）を10,000として指数化しています。

騰落率

	1ヵ月 (2011/12/30)	3ヵ月 (2011/10/31)	6ヵ月 (2011/07/29)	1年 (2011/01/31)	設定来 (2010/05/28)
当ファンド	4.25%	1.12%	-4.11%	0.11%	8.56%
ベンチマーク	4.40%	1.07%	-3.80%	0.70%	10.03%

設定来はマネックス資産設計ファンド エボリューションの設定日を基に計算しています。

基準価額・純資産総額

基準価額 7,574 円
純資産総額 2,643 百万円

S&P 先進国 REITインデックスは、ザ・マグロウヒル・カンパニーズの所有する登録商標であり、[グローバルリート・パッシブ・ファンド・マザーファンド]に対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズ(以下「S&P」といいます。)は本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではありません。S&PはS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、またS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。

当資料は11枚ものです。
P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
 月次運用レポート (2012年2月)

お申込みメモ(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して6営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日またはロンドンの銀行の休業日のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2020年1月14日までです。(設定日:2010年5月28日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益権の口数が10億口を下回るようになった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎年1月11日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回、毎決算日に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。(自動けいぞく投資専用)
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客様にご負担いただく費用について(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
 詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時

購入時手数料 **ありません。**

換金時

換金手数料 **ありません。**

信託財産留保額 **換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。**

保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)

運用管理費用(信託報酬) **信託財産の純資産総額に対して年率1.05%(税抜1.0%)を日々ご負担いただきます。**

その他費用・手数料 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)
 なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

当資料は11枚ものです。
 P.11の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



マネックス資産設計ファンド エボリューション
追加型投信/内外/資産複合
 月次運用レポート (2012年2月)

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

本資料のお取扱についてのご注意

本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。当ファンドのお申込みに際しては、販売会社からお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性等について同社が保証するものではありません。また、掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとす基準価額の変化を示したものであり、税金及び手数料は計算に含まれておりません。

本資料の内容はあくまでも作成時点(2012年2月9日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に株式、債券、不動産投信等(リート)などの値動きのある有価証券に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額が下落することがあります(また、外貨建て資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。)。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なることにご留意ください。

分配金に関する留意点

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のこと、受益者毎に異なります。

分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

ファンドの関係法人

- < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社
- < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社
- < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください
- < 投資顧問会社 > イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社
DIAM International Ltd

委託会社の照会先

- DIAMアセットマネジメント株式会社
- コールセンター 0120-506-860
(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)
- ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

販売会社 (お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2012年2月9日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号					

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

< 備考欄について >

- 1 新規募集の取扱い及び販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は11枚ものです。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

